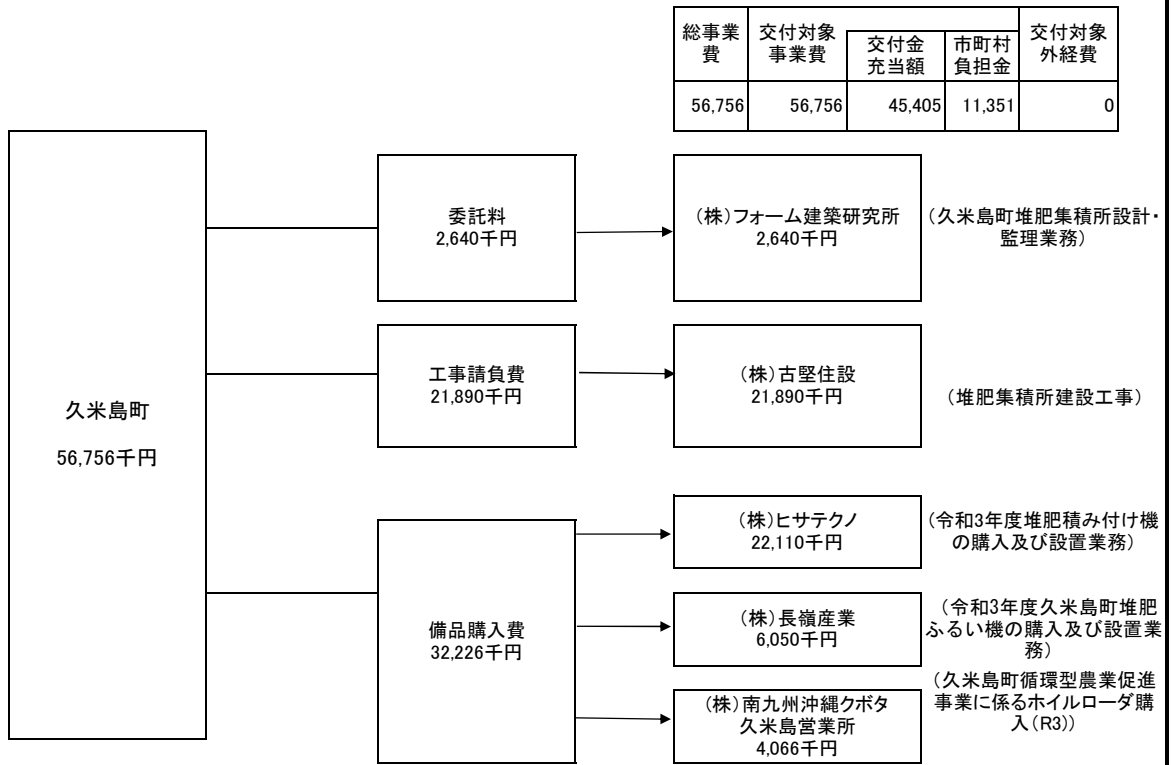


市町村名	久米島町						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	久米島町循環型農業促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	地域資源を活用した循環型農業の構築を促進するため、堆肥センターの生産ラインの機能強化を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額				54,675	
		(b)予算現額				59,405	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	4,730	0
		(d)繰越額				0	27,179
	A. 計(b+d)		0	0	0	59,405	27,179
	B. 執行済額					32,226	24,530
	うち交付金充当額					25,781	19,624
	次年度繰越額					27,179	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	54.2%	90.3%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度に備品購入を完了 ・設計・監理業務、建設工事を着手、雨の影響等により、変更協議の結果、契約延長契約を締結。 ・当初計画していた一部を繰り越したが、工事はすべて完了したほか、活動目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	備品購入 ・堆肥袋積み付け機 ・堆肥ふるい分機 ・ホイルローダ	目標			(整備)		
		実績			完了		
	堆肥集積置場 測量設計	目標			(設計)		
		実績				設計完了	
	堆肥集積置場 造成工事	目標			(造成工事)		
実績					造成工事完了		
達成状況説明	令和3年度に堆肥積み付け機、ふるい機、ホイルローダを整備した。堆肥集積置場の測量設計・造成工事は、R4年度に繰り越し10月末に完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
			目標	()	(17,000袋以上/年)	()	()
	袋詰め堆肥出荷量		実績		R4.11月から供用開始	61,600袋	
進捗状況説明	袋詰め堆肥出荷量、堆肥生産販売数ともに目標値を上回った。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	・作業効率の効率の向上により目標値を上回ることができたが、依然として製造工程が長く、製品までに要する時間が課題である。	・生産ラインを強化したことによって、生産数は増加傾向にあることから、製品化までの期間を短縮し、更なる生産増を目指す必要がある。	
	今後の取り組み方針		
・さらなる生産量の増加を図るため、専門家の意見や、違う製造方法も試み、生産期間短縮に取り組む。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



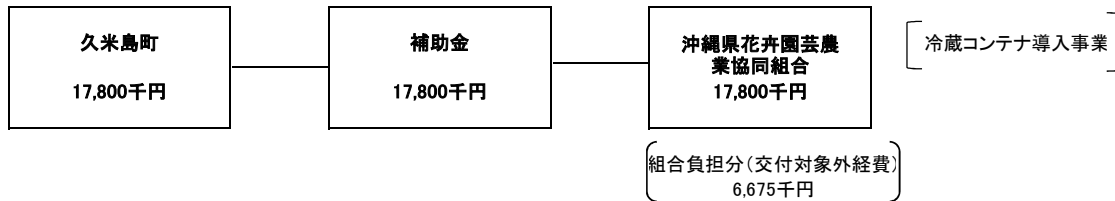
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○請負業者は指名競争入札により、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、循環型農業の構築を促進する上で妥当な規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	久米島町						
令和3年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	冷蔵コンテナ導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	令和3～令和4年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	島の主要産業である花卉(菊)、野菜、水産加工物を、気温に左右されず安定して供給できる体制を構築するため、島外輸送に用いる冷蔵コンテナを導入する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度(繰越)
		(b)予算現額				16,840	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	960	
		(d)繰越額					17,800
		A.計(b+d)	0	0	0	17,800	17,800
	B.執行済額					0	17,800
	うち交付金充当額					0	14,240
	次年度繰越額					17,800	
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0%	100.0%
	予算の状況の説明		・コロナ禍の影響により鉄の価格高騰が生じたことから、補助金を960千円増額した。 ・世界的なコンテナ不足に伴い年度内の納品が困難となったため、予算全額をR4年度へ繰り越した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	冷蔵コンテナの導入	目標				6機導入	
		実績				6機導入完了	
	電源工事	目標				工事	
実績					工事完了		
達成状況説明	コロナの影響により冷蔵コンテナの製造が大きく遅れ、次年度(R4)に繰越したが、冷蔵コンテナ6機の導入と電源工事は全て完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	生産額(千円)	目標	()	()	()	(366,206)	()
		実績				325,728	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	生産額は目標値を40,478千円下回った。花卉、輪ギク、小菊の出荷においては、コロナ前の生産量には回復していないものの、令和4年度実績として、生産額は325,728千円と対前年度比で、29,383千円、110%増、平均単価は52円/本と対前年度比で3円、105%増となっており、コールドチェーン化による高単価取引の影響が出ている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>沖縄本島への花卉(菊)の出荷は、これまでドライコンテナに格納し、約4時間かけて船輸送していた。輸送中の気温上昇に伴う熱気・湿気で花卉(菊)の品質が低下し、販売価格の低値や、商品価値を失うこともあった。</p>	<p>冷蔵コンテナ導入によりコールドチェーン化されたことから、夏場を含め、安定した周年出荷に対応できる農家の生産体制を引き続き強化する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>夏場の花卉の需要を把握した上で、生産量等の計画を立て栽培に取り組むことで、各農家の安定した周年出荷を図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
24,475	17,800	14,240	3,560	6,675



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は沖縄県花卉園芸農業協同組合であり、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は本町の花卉生産量等を考慮し、妥当な規模である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者や他の事業の負担割合から判断しても妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については、清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。